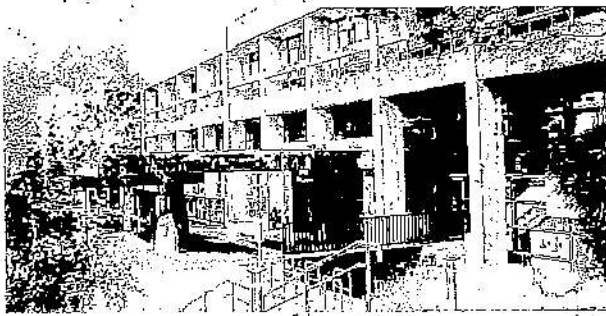


H31. 3. 28 (木)

旧庁舎市文化財指定

伊賀市教委 答申後2年放置

保存か解体かで紛糾する伊賀市旧庁舎について市教育委員会は26日、賛成多数で市文化財に指定した。建



市教委が市文化財に指定した「旧上野市庁舎」
伊賀市上野丸之内

物をめぐっては、市教委が市文化財保護審議会に文化財的価値を語りながら答申後の指定を2年間放置。

26日に笹原秀夫教育長と教育委員4人が別案件と一括採決した結果も賛成3人と、全会一致に至らなかった。

旧庁舎は保存・活用を掲げる岡本栄市長と、解体を求め決議するなどした市議会の対立が続く。新年度予算でも市議会の反発を受けて市が保存関連予算を削除している。

文化財の答申は例年2月に審議会からあり、翌3月に市教委が指定するのが一般的。旧庁舎の指定名は「旧上野市庁舎」で、2017年2月に答申を受けて

いた。

市教委によると、指定を持ち越していた例は過去10年間で旧庁舎以外になく、指定が全会一致にならなかったことも過去にない。26日の教育委員の審議では「なぜこの時期に指定するのか」という疑問が示されたという。文化財的価値を失った場合は指定が解除され、解体を縛るものではないとしている。

27日に会見した笹原教育長は「これまで旧庁舎として使っており何かあれば手入れてきた。今は空き家で劣化が進み、建物が悲しんでいる感じがした」などと指定を進めたことを説明。指定の放置は意見が割れる案件へ配慮した結果では、との問いには「ないです」と否定した。

一方、岩田佐俊議長は「議会と行政で審議中の旧

庁舎を文化財指定するなど、市議会を冒瀆し無視した行為。関連予算を蹴った仕返したとしたら、あまりに子どもじみている」と憤慨。4月の臨時市議会に岡本市長への不信任決議案を再び提案することを協議していくと述べた。

ほかに市文化財指定されたのは、1874年開催の「明治7年伊賀上野博覧会図」、1854年の安政伊賀上野地震の被害を描いた「伊州御城下破産損所絵図」の2件。(中田和宏)

伊賀市旧南庁舎 市文化財に指定

市議から反発も

伊賀市教委は二十七日、旧南庁舎（上野丸之内）など三件を新たに市文化財に指定したと発表した。旧南庁舎の利活用を巡っては、三月議会で整備費が削除されたばかり。議員側は「なぜ今の時期の指定なのか」と反発している。

指定は二十六日の教育委員定例会で決まった。笹原秀夫教育長が当初予定になかった旧南庁舎を加えた三件を提案し、教育長と委員四人の計五人による一括採決で、賛成が過半数の三人となった。

市教委によると、文化財保護審議会は二〇一七年二月に旧南庁舎の指定を答申したが、以降、定例会の議題にはならなかった。答申から二年経過しての提案は過去十年間で例がない。

市文化財保護条例では、指定を受けた文化財について、保存・活用のため必要な措置を講じることが明記されている。傷つけた場合の罰則規定がある一方、必要

な手続きを経て指定解除することもできる。

笹原教育長は二十七日、記者会見し「移転して真っ暗になった旧南庁舎を見て、せつなく良いものなのにと悲しい気持ちになった。文化庁の『活用しながら保存していく』という考えは全くその通り」と話す。岡本栄市長は取材に「新たな価値を加えてにぎわいづくりに進むことができる。不毛な議論に終止符が打たれた」と述べた。

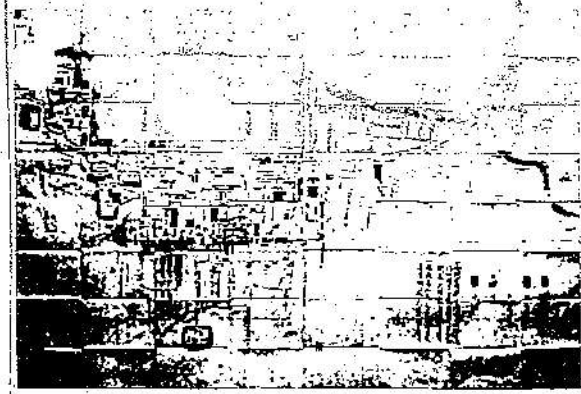
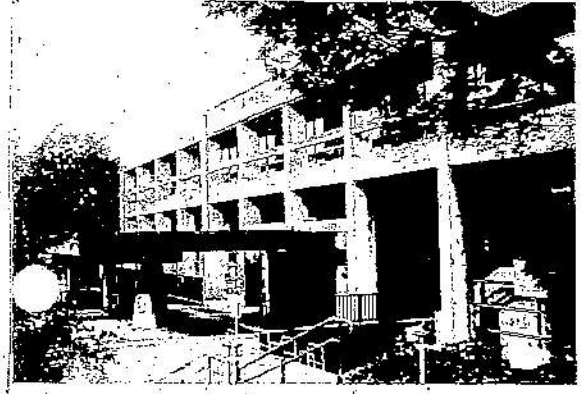
これに対し、岩田佐俊議長は「議会で審議中の案件で、こちらに何の相談もない指定はもってのほか。議会軽視の暴挙だ」と批判した。

旧南庁舎は建築界の巨匠ル・コルビュジエに師事した坂倉準三が設計。市文化財課は「現代の伊賀の街並みを形成する基点となった昭和を象徴する貴重な建物」としている。市は二五年、国の有形文化財への登録を目指したが、議会の反発を受け、申請を取り下げた。

他に指定された二件は、明治初期に開かれた伊賀上野博覧会を描いた絵図「明治七年伊賀上野博覧会図」と、江戸時代に発生した安政伊賀上野地震での城下町などの被害を色分けして記した「伊州御城下破産損所絵図」。

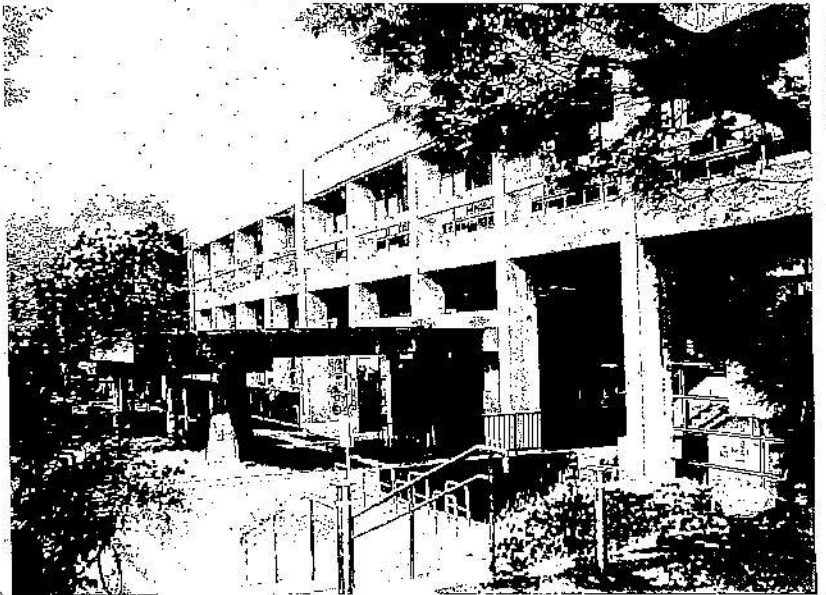
（飯盛結衣）

㊦伊賀市旧南庁舎 ㊧明治七年伊賀上野博覧会図 ㊨伊州御城下破産損所絵図（城下町部分）＝いずれも市教委提供



伊賀旧庁舎 **やと** 市文化財に

答申から2年以上



伊賀市の旧庁舎—市教委提供

改修市議会反対で白紙に

伊賀市教育委員会は27日、保存か、取り壊しかの議論が続いている市の旧庁舎（旧上野市庁舎、上野丸之内）を、市文化財に指定したと発表した。2017年2月の市文化財保護審議会の答申から2年以上経過する中、市議会の反対で、旧庁舎改修計画が白紙に戻ったばかり。このタイミングでの指定に対し、一部の市議からは「市側の市議会への仕返しではないか」と反発の声が上がり、起きている。

旧上野市庁舎は、近代建築の巨匠ル・コルビュジエに学んだ坂倉準三が設計し、1964年に完成。屋上庭園、水平連続窓などの「近代建築5原則」を踏まえ、昭和時代を象徴する建物とされる。

岡本栄市長は2012年

秋の初当選時から旧庁舎の保存活用を主張。市議会は

15年9月に旧庁舎の取り壊しを決議し、激しく対立した。市議会は、激しく対立した。

市議会は、激しく対立した。

改修の実施設計画を含む新年度一般会計当初予算案が予算委員会でも否決され、市側が自ら実施設計画を削除し、忍辱体験施設を旧庁舎以外の場所で開催する方針を打ち出した。

一方、市教委の定例会では26日、急きょ議案に今回の指定の件が追加され、他の絵図2件とともに教育委員4人と笹原秀夫・教育長が挙手で採決。3人の賛成で指定が決まったという。答申から指定まで2年もたったこと、全会一致でなかったことは、いずれも過去10年で初めてという。

市教委文化財課は取材に対し、「これまでは市役所として使用しており、指定を急ぐ必要がなかった」と説明。笹原教育長は「空き家状態になった今、明かりの消えた旧庁舎が悲しそうに見えて、指定を急いだ」と理由を述べた。

これに対し、岩田佐俊議長は「市議会の議決案件ではないが、事前に議会に説明があってもいいのでは。『なぜ、この時期の指定なのか』と、議会内で反発が起き、『市長不信任だ』と話す議員、いる」と話す。

ほかに文化財指定されたりよ、今手く（？）答申さし

た絵図2件。18974年（明治7年）、旧上野城御殿で開かれた博覧会の様子を描写した「明治7年伊賀上野博覧会図」と、54年（嘉永7年）に発生した安政伊賀上野地震の被害状況を記した「伊州御城下破屋損所絵図」。今回の3件で市指定文化財は286件になった。

旧南庁舎

市文化財指定が波紋

市議会「利活用審議中の案件」

【伊賀】旧伊賀市役所「冷静に判断したい」と歓迎した一方、市議会の岩田佐俊議長は「(旧庁舎地の)利活用の取財で岡本栄市長は」

波紋を広げた。市教委によると、26日の市教委定例会で他の指定案件2件と一括して菅原秀夫教育長が教育委員4人にはか

賛成3人で指定が決まった。委員からは「なぜこの時期に指定ですか」などと質問があったという。

2017年に市文化財保護審議会が答申したが市教委は議題にしていなかった。答申後速やかに定例会で議題とし、全員賛成での指定決定が通例という。

菅原教育長は「(庁舎移転で)維持管理されなくなった。これまで日常的に使われていたので議題としなかった」と説明した。

岡本市長は改修による利活用の方針を堅持し「文化財的価値を増してもう一度みなさんにとにぎわいづくりを考えた」と述べた。岩田議長は「市と市教委が一体となって進めたと思う。議会には市長不信任案提出の声も上がっている」と語った。

他の市文化財指定は、洋装の男性や人力車に乗った和装の女性らを描いた「明治7年(1874年)伊賀上野博覧会図」と、1854年の安政伊賀上野地震の城と城下町の被害が分かる「伊州御城下破産損所絵図」(2枚1組)。

【大西康裕】



庁舎移転で空き家になった旧南庁舎内部

伊賀市上野丸之内で

市教委

旧南庁舎 市文化財に

教育長判断で議題、採決

【伊賀】伊賀市教委は26日、旧市役所南庁舎(旧上野市庁舎)を市指定文化財にした。南庁舎を巡っては岡本栄市長は保存改修を訴え、市議会

は取り壊しを決議するなど意見が分かれていた。市教委によると、市文化財保護審議会は2017年2月に文化財指定の答申をしたが、教育委員会定例会などの議題になることはなかった。今回は菅原秀夫教育長の判断で議題

とし、この日の定例会で採決の結果、賛成多数で指定が決まった。南庁舎は建築家の坂倉準三が設計し、1964年完成の鉄筋コンクリート3階建て(5622平方メートル)。「世

界的にモダンイズム建築の意義が目される中、文化財として価値が高い」と評価された。

【大西康裕】

伊賀市の旧市役所南庁舎

伊賀市上野丸之内で

